

# モデルコース

※番号は中面の地図の番号です。  
 ※〈 〉内の時間は滞在時間です。  
 ※移動時間は車を利用した際にかかる時間です。  
 ※出発地からの所要時間はご相談ください。

ダイナミックな大地の変遷、美しい自然景観、鉱山や街道といった文化遺産。さまざまなジオモデルコースを栗駒山麓ジオガイドがご案内します。ガイド料は、1時間 2,000 円を目安に案内しますので、お気軽にご依頼ください。

## 1 大地の変動と人びとの営みを知る

所要時間  
3時間10分



## 2 ダイナミックな大地の形成 平成20年岩手・宮城内陸地震を体感する

所要時間  
2時間40分



## 3 鉱山と鉄道がもたらした繁栄をたどる

所要時間  
3時間40分



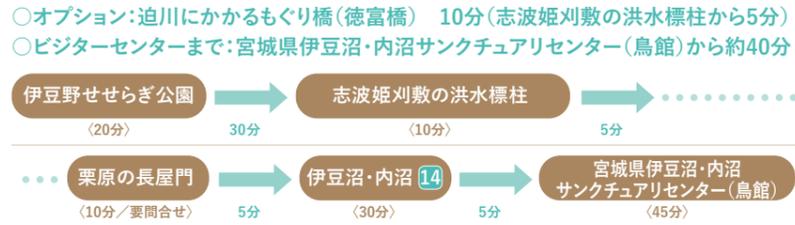
## 4 一迫川沿いの斜面崩落地と 海底火山がつくった溶岩と渓谷

所要時間  
2時間



## 5 豊穡の大地くりはら 平野にひろがる地形と文化 その①

所要時間  
2時間40分



## 6 豊穡の大地くりはら 平野にひろがる地形と文化 その②

所要時間  
2時間30分



# 栗原市(栗駒山麓)への交通アクセス

**自動車**

- 浦和ICから・築館IC 約386km(約4時間50分)
- 築館ICから・花山へ35分・鶯沢へ15分・一迫へ10分・築館へ3分・志波姫へ10分・瀬峰へ10分・高清水へ10分
- 浦和ICから若柳金成IC・約400km(約5時間)
- 若柳金成ICから・栗駒へ10分・金成へ3分・若柳へ5分

**JR** ※バス接続のお問い合わせは各バス会社に。

**東北新幹線**

仙台駅	約25分	くりこま高原駅
-----	------	---------

**東北本線**

仙台駅	約55分	瀬峰駅
一ノ関駅	約6分	有壁駅

**高速バス**

仙台駅	約60分	築館
	約75分	若柳
	約70分	一迫
	約85分	金成

**飛行機**

- 仙台空港ICから仙台東部道路・北部道路経由・東北自動車道で・築館ICまで約77km(約50分) 若柳金成ICまで約89km(約1時間)

**ご宿泊** ご宿泊については、(一社)栗原市観光物産協会(☎0228-25-4166)までお問い合わせください。

# 栗駒山麓ジオパークビジターセンター

栗駒山麓ジオパークを学び、楽しむ、ジオの拠点施設

ビジターセンターでは、栗駒山麓ジオパークを学び、楽しむための展示が盛りだくさん。展示室では、パネルや映像でジオパークを学べるほか、栗駒山から伊豆沼・内沼までの約40kmの航空写真で、広大なジオパークの魅力にふれることができます。シアター室では、壁と床の二面巨大スクリーンで栗駒山の誕生物語や巨大地すべりの様子などを大迫力で体感できます。私たちの暮らしと大自然との関わりについてふれてみましょう。

■開館時間 9:00 ~ 17:00 (3 ~ 11月)  
 9:00 ~ 16:00 (12 ~ 2月)  
 ■休館日 火曜日(祝日の場合は翌日)  
 年末年始(12月29日~1月3日)  
 ■入館料 無料

【お問い合わせ】 栗駒山麓ジオパーク推進協議会

〒989-5372 宮城県栗原市栗駒松倉東貴船5番地  
 栗駒山麓ジオパークビジターセンター内

TEL 0228-24-8836 FAX 0228-45-5936

ホームページ <https://www.kuriharacity.jp/geopark/>  
 Facebook <https://www.facebook.com/geo.kurikoma>

2019.3 改訂



# 栗駒山麓ジオパーク サイトマップ

~自然災害との共生と豊穡の大地の物語~



平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震。この地震で、栗駒火山の山頂から麓まで、さまざまな大地の破壊運動が生じた。これは太古の昔から繰り返された地球のいとなみ悠久の歴史の中で大地が変貌するページをめくる瞬間に立ち会った。

## Mt. Kurikoma Area Geopark Site Map



# 栗駒山麓ジオパークサイトマップ



**1 栗駒山頂**  
 栗原を代表する観光地。日本一と称される紅葉と6つの登山コース、残雪の駒姿で有名。  
 いわかがみ平 P 車椅子



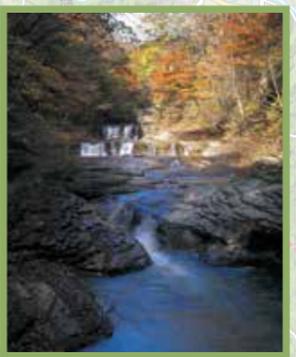
**2 栗駒温泉群**  
 栗駒山南側に分布。新湯温泉など。栗駒山の地下にある「地球の熱」を体験できるジオサイト。  
 ・栗駒の温泉郷 2-a P 車椅子 (一部可)  
 ・花山の温泉郷 2-b P 車椅子 (一部可)



**3 山頂周辺の地形**  
 侵食が生んだ雪形と、安定した台地が育んだ樹齢千年のクロベ群落など多彩な自然環境へ踏み込む。



**4 高層湿原**  
 泥炭層上にある高層湿原。湿原を守るフナ林、ニッコウキスゲやワタスゲなど多彩な植生が楽しめる。  
 ・世界谷地原生花園 P



**5 荒砥沢渓谷**  
 地形を利用したダムと下流の渓谷美が特徴。  
 ・荒砥沢渓谷 5-a (要ガイド)  
 ・荒砥沢ダム 5-b P 車椅子



**6 荒砥沢地すべり**  
 平成20年岩手・宮城内陸地震により発生した日本最大級の地すべり。自然の驚異を目の当たりに出来る。公園からは日本最大級の荒砥沢地すべりを一望できる。  
 ・藍染湖ふれあい公園 5-c P



**7 火山山麓地すべり地帯**  
 かつての登山口を含むこの地帯は、平成20年岩手・宮城内陸地震の対策工事が進んでいる。  
 ・冷沢崩落地 7-a P 車椅子  
 ・行者滝 7-b P 車椅子



**8 花山地区地すべり地帯**  
 平成20年岩手・宮城内陸地震により生じた大崩落。災害、復旧状況を学び、柱状節理も間近で見ることが出来る。  
 ・湯浜/湯ノ倉崩落地 8-a  
 ・小川原崩落地 8-b  
 ・浅布崩落地 8-c  
 ・坂下崩落地 8-d



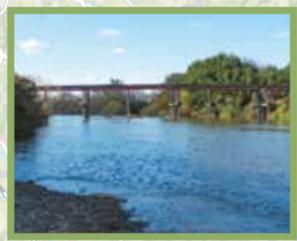
**9 熱水鉱床によりもたらされた細倉鉱山**  
 細倉鉱山跡地を改修。テーマパークへ。観光坑道やスライダーパークで幅広い年代層が楽しめる。  
 ・細倉メインパーク P 車椅子 (一部可)



**10 丘陵の渓谷とグリーンタフ**  
 季節が織り成す渓谷美。日本海や日本列島形成に関連する緑色凝灰岩が見られることも。  
 ・牛淵渓谷 10-a P 車椅子  
 ・浅布渓谷 10-b P  
 ・川台渓谷 10-c



**11 鮮新世・更新世からなる丘陵地**  
 過去の火山活動が栗原にどの様に影響したのか、火山堆積物実物に触れ、考える。(見学 要問い合わせ)  
 ・火山豆石 11-a P  
 ・火砕流堆積物の小野田層 11-b



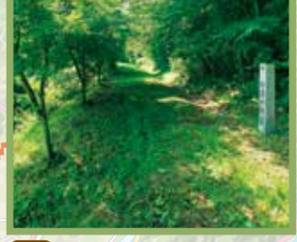
**12 迫三川平野部**  
 栗駒山を源とする三本の迫川。この地に住む人々の暮らしや稲作と水害とのたたかいを学ぶ。  
 ・長屋門 12-a P 車椅子  
 ・伊豆野堰 12-c P 車椅子  
 ・迫三川合流 12-d



**13 栗原の鉄道**  
 旧くりはら田園鉄道の駅舎と動態保存の車両が見られる場所。通勤通学、物資運搬などの歴史を学ぶ。  
 ・くりでんミュージアム 13-a P 車椅子  
 ・仙北鉄道跡と亜炭採掘場 13-b



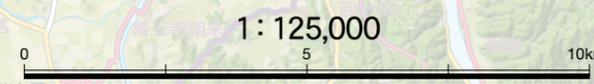
**14 人と水鳥たちの共存伊豆沼・内沼**  
 夏のハス、冬は日本最大級の渡り鳥の越冬地として知られる。天然記念物指定、ラムサール条約登録湿地。  
 ・伊豆沼・内沼 サークチュアリセンター P 車椅子



**15 大地の変動と歴史を物語る街道**  
 グリーンタフ変動の東端、盛岡-白河構造線に沿って形成された平野と集落同士のつながりを知る。  
 ・奥州街道 15-a P 車椅子  
 ・高清水湧水 15-b P 車椅子  
 ・花山村寒湯御番所跡 15-c P 車椅子



**16 標高差の象徴**  
 栗原の高低差を感じられる海拔1.8mの市内で最も標高の低い場所。縄文海進とも関連。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の1地形図を使用した。(承認番号 平26情使、第202-GISMAP 34259号)